「あなた方が腹部に何かを見出して苦しくなり、（排泄口から）何か出てしまったのではないかと疑念を抱いたとしても、音を聞いたり臭いを嗅いだりしたりするまでは（礼拝を中断して）モスクを出てはならない。」

アブー・フライラ（アッラーのご満悦あれ）によれば、アッラーの使徒（アッラーからの祝福と平安あれ）は、こう言った： 「あなた方が腹部に何かを見出して苦し
くなり、（排泄口から）何か出てしまったのではないかと疑念を抱いたとしても、音を聞いたり臭いを嗅いだりしたりするまでは（礼拝を中断して）モスクを出ては
ならない。」
[صحيح] [رواه مسلم]

預言者（アッラーからの祝福と平安あれ）は、礼拝する者が腹部に何かを見出して苦しくなり、排泄口から何か出てしまったのではないかと疑念を抱いたとしても、おならの音を聞いたり臭いを嗅いだりしたりすることによって、ウドゥーがなくなったこと確信するまでは、ウドゥーするために礼拝を中断してはならない。なぜなら疑念は確信を無効化することななく、その者にとって清浄な状態は確信されたものであり、穢れの状態は疑念があるところだからである。

http://www.sunnah.global/hadeeth/ja/show/65083